

# クローズ CLOSE UP アップ 話題の人に迫る

兄の勧めで小学校6年生からスノーボードを始めた原田くん。口和中学校2年生からレースに出場し、3年生には県代表として全国大会にも出場した。

口和中学校を卒業後、「スノーボードができる環境を」と、北海道の登別大谷高校に進学した。同校は、ワールドカップで優勝し、トリノオリンピックにも出場した国母和宏選手を輩出するなど、スノーボードの強豪校。顧問の宮竹和宏論はスノーボードの日本代表コーチを務め、全国各地からトップレベルの選手が集まってくる。

全国大会に出場し、特待生として入学した原田くんも、周りのレベルの高さに驚いた。

同校では、11月からスキー場での本格的な練習が始まる。練習は毎日、朝9時から夕方4時まで行われ、3月まで合宿と大会を繰り返し、日々。周りの選手に刺激を受けながら急成長し、徐々に結果が残せるようになった昨年3月、全日本ジュニ

アスキー選手権大会で6位入賞を果たした。積極的に安定した滑りがスキー連盟の目に留まり、今シーズンの国内強化育成選手入りした。現在は、ポール（旗門）を通過し順位を競うアルペンのほか、4〜6人が同時に滑り順位を競うボイダークロス、ジャンプやレール滑走などで技の表現力などを競うスロープスタイルにも挑戦している。今シーズンはスロープスタイルで、全日本スノーボード選手権3位入賞、ボイダークロスでもオーストリアで開催されたスノーボードジュニア世界選手権に日本代表として出場するなど、好成績を残している。

スタート前、原田くんは滑りだけだけでなく、表彰台上がっている自分までを強くイメージすると言う。原田くんのここ一番の勝負強さは、イメージトレーニングなどメンタル面の強さから引き出される。また、国内強化合宿では、ストレッ

日本のトップレベルの選手から多くのことを学び、日々生活の中で意識している。さらなるレベルアップを図るため、5月からはカナダで合宿を行い、7月までスノーボードに没頭する。

「目標は2009年にカナダで開催されるバンクーバーオリンピック出場。代表に選ばれるよう一戦一戦大事に戦い、海外でも上を目指したい」と意欲を見せる。



## めざせ スノーボード日本代表

### 五輪出場の登竜門へ

口和出身の原田大禎くんが、スノーボード・アルペンの五輪代表候補を育てる国内強化育成選手に選ばれた。この国内強化育成選手は全国から25人が選ばれ、合宿や各種大会に出場しながら、4つの代表枠を狙う。

ともよし  
**原田大禎**くん  
(口和町出身・登別大谷高校3年)